

株式会社きちり | 証券コード3082

平成20年6月期 決算説明会資料

目次

- I . NIPPONブランドとしてのK I C H I R I へ

- II . 平成20年6月期は18%の売上成長
平成21年6月期は30%の売上成長へ

- III . 業績見通し

I . NIPPONブランドとしての K I C H I R I へ

居酒屋市場からのスピンアウト

新しい日本様式のカジュアルレストランチェーン構築

未開拓 新市場へのスピナウト



- ① 激しい競争市場
- ② 商品の均一化、日常品化
- ③ 価格競争の激化

新日本様式のカジュアル
レストランの3つの個性

KICHIRI ブランドの構築『守・破・離』

独創

離

新日本様式のカジュアルレストランチェーン

応用

破

個性を最大化することで独自のブランドイメージを構築

基本

守

顧客層が幅広い巨大居酒屋マーケットから参入し、先行ナショナルチェーン各社との競争によって自社の足らずを知り、強みとなる個性を創造

新日本様式のカジュアルレストランの3つの個性

- ① 理念である「大好きがいっぱい」を表現する心からの“おもてなし”
- ② 独自の商品コンセプト“モダン和食”
- ③ 新日本様式の寛ぎを表現した“シンプル&モダンな和の空間”

『新日本様式のカジュアルレストラン』ブランドの構築



KI·CHI·RI
E·B·I·S·U

美

日本の伝統的文化は、歴史を経て日本固有の洗練された新しい様式や美意識を育んできた。この文化を現代的なフィルターを通した上で日本的"美"を表現し視覚への訴えを回ると同様日本古来の奥ゆかしさを空気感で表す事により新たな日本の美空間が完成すると想像する。



新コンセプト『KICHIRI 恵比寿』誕生



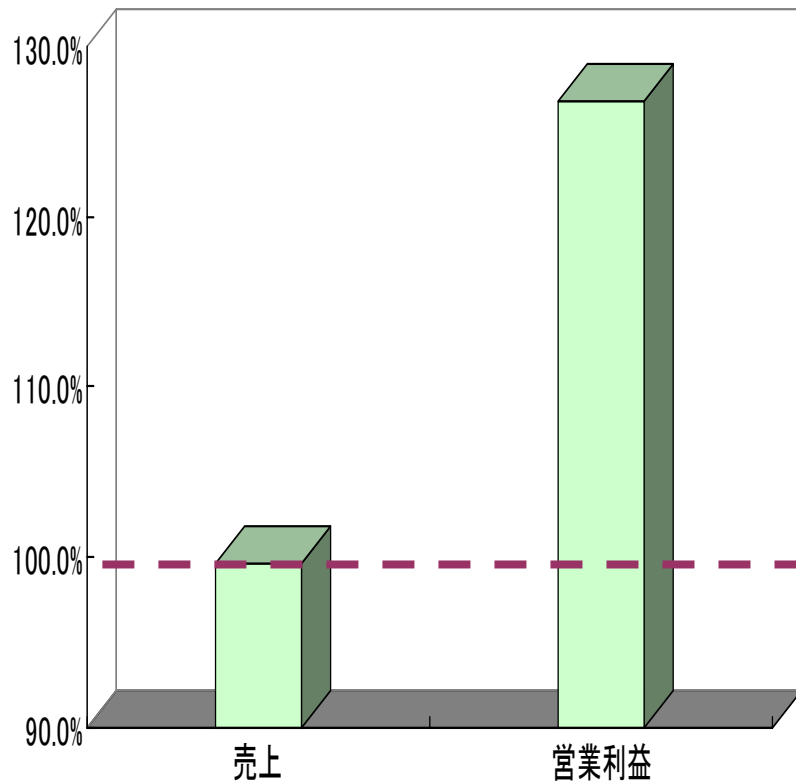
Ⅱ．平成20年6月期は18%の売上成長
平成21年6月期は30%の売上成長へ

既存店状況①

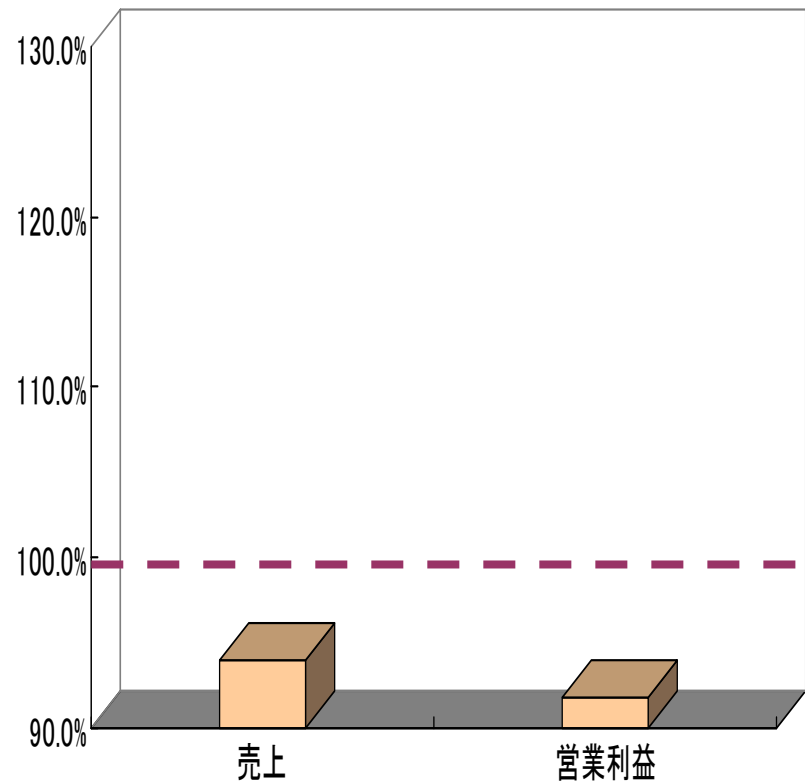
※既存店＝オープンから13ヶ月以上経過した店舗

立地による既存店売上動向

～対前年比～



■ 繁華街店舗一例



■ 郊外型店舗一例

既存店状況②

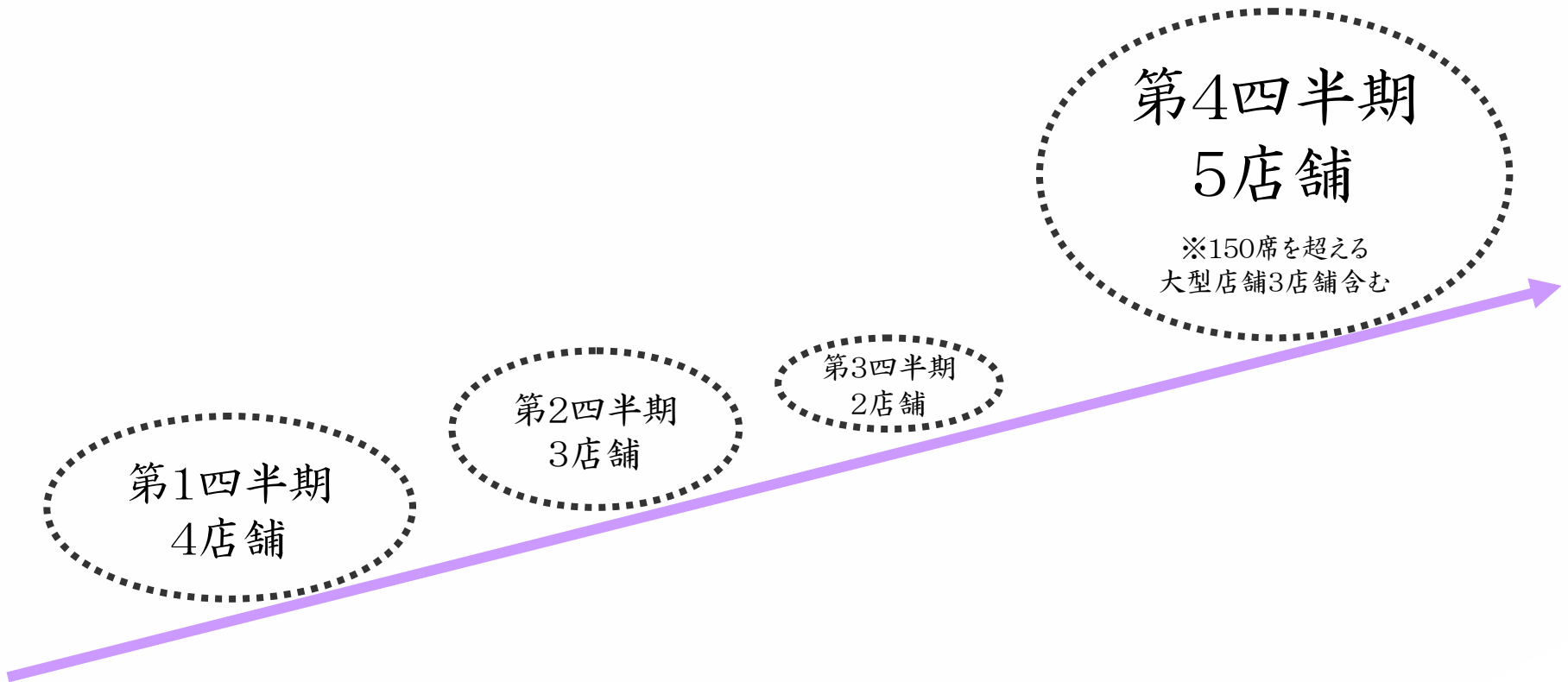
FLコスト削減

売上前期比94%

営業利益前期比100%

新規出店状況

超大型店舗を含む14店舗の出店



貸借対照表概要

	平成20年6月期	平成19年6月期		平成20年6月期	平成19年6月期
流動資産	482	397	流動負債	761	541
固定資産	1,935	1,260	固定負債	759	437
有形固定資産	① 1,375	902	負債合計	③ 1,520	979
無形固定資産	0	0	株主資本	④ 897	678
投資その他の資産	② 559	356	純資産合計	897	678
資産合計	2,417	1,657	負債・純資産合計	2,417	1,657

損益計算書概要

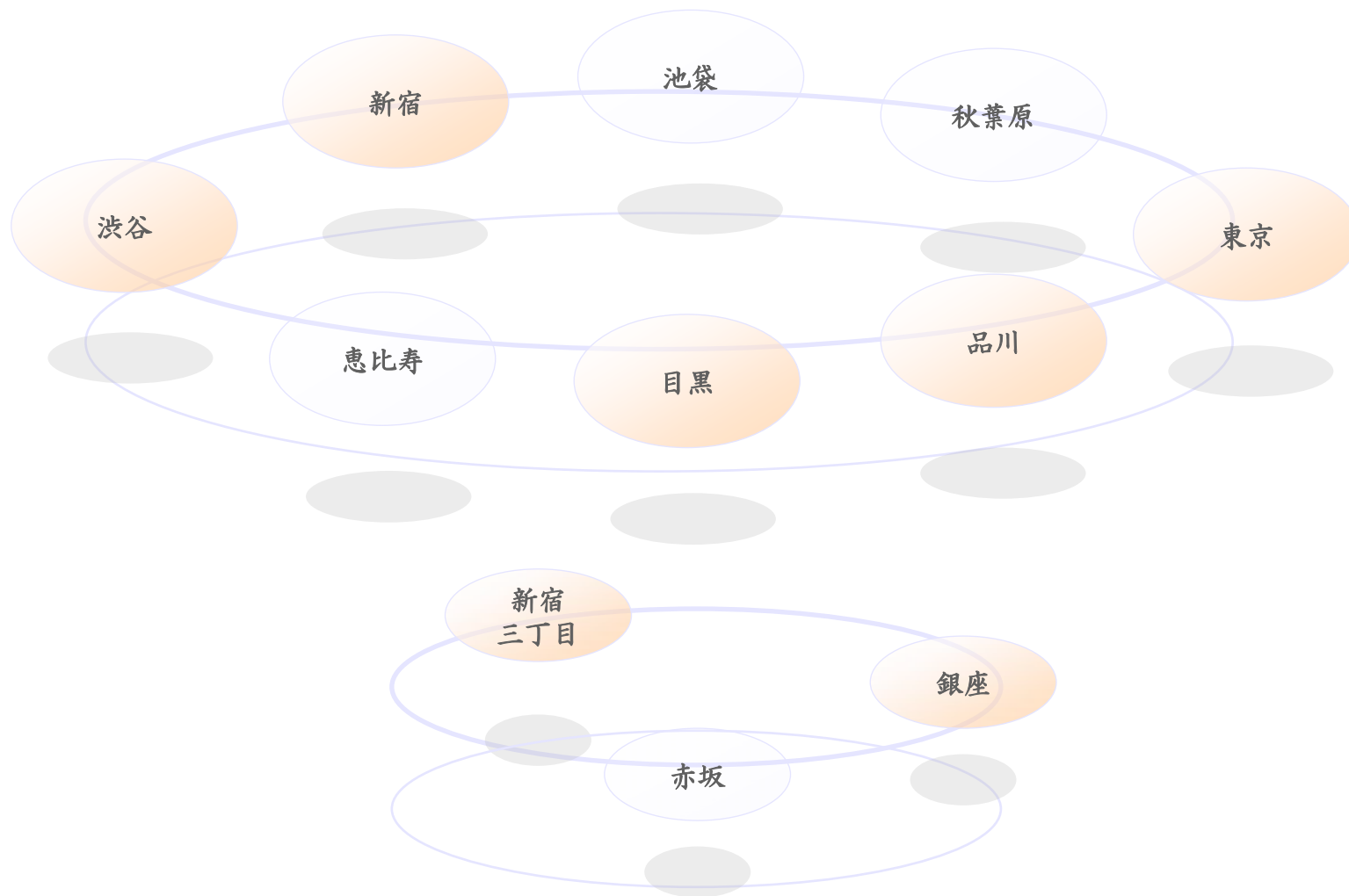
	平成20年6月期	構成比	平成19年6月期	構成比	対前期比 増減率
売上	4,146	100.0%	3,486	100.0%	18.9%
売上原価	1,237	① 29.8%	1,108	31.8%	11.6%
売上総利益	2,909	70.2%	2,377	68.2%	22.4%
販管費	2,814	67.9%	2,225	63.8%	② 26.5%
営業利益	94	2.3%	152	4.4%	▲38.2%
経常利益	125	③ 3.0%	151	4.3%	▲17.2%
当期純利益	64	1.5%	79	2.3%	▲19.0%

キャッシュ・フロー計算書概要

	平成20年6月期	平成19年6月期
営業キャッシュ・フロー	170	275
投資キャッシュ・フロー	① ▲711	▲466
財務キャッシュ・フロー	② 553	223
現金同等物の増減	12	31
期首現金同等物残高	256	224
期末現金同等物残高	268	256

Ⅲ 業績見通し

出店方針



業績予想

平成21年6月期

	金額	対前期
売上高	5,428百万円	30.9%
営業利益	130百万円	37.7%
経常利益	132百万円	5.0%
当期利益	66百万円	2.9%

注意事項

本資料に含まれている業績予想等、歴史的事実以外の事象については、本資料の作成日において入手可能な情報から判断された一定の前提に基づき株式会社きちりが策定したものであり、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる可能性があることをご承知おきください。

お問い合わせ先

管理本部

TEL 06-6244-5678

FAX 06-6244-0012

K
K I C H I R I & C o .